

カテゴリー: **アイス・ダンス**

件名: **パターン・ダンス(ノービス国際競技会用)の説明, ステップ表, ダイアグラム**

タンゴ・キャナスタ・ベーシック・ノービス(2020~2021シーズン)

音楽 - タンゴ, 4/4拍子
テンポ - 4拍子27小節/分, 108拍/分
パターン - セット
時間 - 3シーケンスの滑走に必要な時間は47秒.

このダンスは、女性が男性の左に位置するリバース・キリアン・ホールドで滑る。とてもシンプルなダンスで、その目的は3つある。1つめは、プレリナリー・レベルのダンサーにタンゴのリズムを学んでもらうこと。2つめは、8カウントで大きく半円を描く経験をしてもらい、速いスピードでエッジに乗れるという自信を付けてもらうこと。3つめは、経験の浅いダンサーにいろいろしてもらうことである。

スケートとダンスの基本ができていれば、特に難しいところはないはずだ。最初のシャッセ(ステップ3と4)は、両足を横にそろえ、カウント4で行う。必ず、体重をきちんと右足に移すこと。両足で滑ってはならない。もうひとつのシャッセは少し違って、スライド・シャッセというものだ。このシャッセでは、体重を新たなスケーティング・フットへ移すと同時に、フリー・フットを前に滑らせるように氷から浮かせ、その後、次のエッジへの乗り換えがスムーズにできるぎりぎりのタイミングでスケーティング・フットの横まで引き戻す。

この部分で膝を上手に使うと、タンゴをしっかりと表現することができる。ここで、フリー・レッグをできるだけ伸ばし、つま先も上ではなく、下に向ける練習をするのがいいだろう。また、ダイアグラムに示されているとおり、ステップ14のRFOをリンク中央寄りに向けて踏み出すためには、ステップ9から13でエッジにしっかり乗って滑る必要がある点にも注意されたい。

最後のステップ14は、クロス・ロールとしてもよい。つまり、ステップ13が終わるとき、左足の前に右足をクロスさせて出し、左足のアウトサイドエッジで氷を押ししてRFOに踏み換える形だ(「クロス・ストローク」の詳しい説明や、「クロスト・ステップ」との違いは、用語の説明を参照のこと)。踏み換える瞬間、両足があまり離れないようにすべきだが、一番大事なのは、トゥ・ブッシュにならないことだ。

このダンスでは、巧みなフットワーク、タンゴの表現、よい姿勢を維持することが求められる。

考案者 ジェームズ・B・フランシス
初演 1951年、トロント、ユニバーシティ・スケート・クラブ

